

2. 試料調製明細書

(1) 作物残留試験

福島植/きゅうり

試験場名 福島植 (郡山)

2019年度 農業作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 2019年8～9月)

1. 被験物質

(1)一般名・類型

①オルトラン粒剤、②アドマイヤーフロアブル、③ランマンフロアブル

(2)有効成分及び成分含有率

①アセフェート5.0%、②イミダクロプリド20.0%、
③シオリアミド9.4%

(3)被験物質のLot No

①N1807Z1、②T9B02、③180021

2. 農作物名

キュウリ

品種名

エグゼレント節成2号

3. 試験実施機関名

福島県植物防疫協会 郡山試験地

試験圃場所所在地

福島県郡山市富久山町八山田字桑木久保

4. 試験責任者氏名

平子 隆一

5. 土性

砂土・砂礫土・礫土・O植礫土・埴土 (Oを付す) 減水浜 cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても提出しません)

作物：サラダ菜 (処理区Aのみ)
ZL-2901 20SC 4000倍 (2019年6月18日、25日)

7. 栽培概要

播種期 4月15日、施肥期 5月・6月、収穫期 8月10日・15日、生育期間 約1700℃・約1700株/10a
施設密度 畝間 1m、株間0.6m、畝長4.8m、1条植、2条、16株、
施肥量 (10a当たり)：基肥：なし、
追肥：2019年8月27日：起速効 (N:P:K=10:12:10) 50kg/10a、
2019年9月4日、10日、16日：ハイボネックス (N:P:K=6:10:5) 500倍 200区
収穫期間 (通期)：9月～10月

栽培様式等；マルチ栽培 (黒ボリフィルム)

生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ
を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても提出しません)

粘着くん液剤100倍 (2019年8月16日)、ガッテン乳剤5000倍・モベントフロアブル2000倍
(2019年8月22日)、マイコナール1000倍・ガッテン乳剤5000倍 (2019年9月1日)
モレスタン水和剤2000倍 (2019年9月11日)、アミスター-20フロアブル1500倍 (2019年9月14日)

10. 試験区

(1) 試験区の面積および本 (株)数

A区 (処理区) 9.6㎡ (16株)、B区 (無処理区) 9.6㎡ (16株)

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ

パイプハウス (A棟：面積90㎡、容積84.4㎡、高さ2.7m、
B棟：94.5㎡、容積93.7㎡、高さ2.7m)

(3) 試験区の配置図

試験区全体および周辺農家の位置がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙として提出してください。
ア) 下口のみとを記す。試験区および無処理区の配置図を併記して下さい。農薬・灌水方向を記入して下さい。
イ) 農薬・灌水方向、灌水方向、灌水方向を記入して下さい。水田は灌水方向を記入して下さい。
ウ) 農薬・灌水方向、灌水方向、灌水方向を記入して下さい。

4区 (中黒線を含む)

5区 (黒線を含む)

住宅敷地

山林

山林

水田

物置1

物置2

パイプハウス

道路

住宅

10m

N

4

-33-

(2019-キョウリ第9)

1.1. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは処理型を記載する)

区分	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	10ヶ当	処 理 量	処理時の生育 ステージ	処理方法 (略)
処理月日										試験区当(農業量散布量/面積)		
オルトラン粒剤 8月3日	○	無処理						2g/株	3.3kg	32g / 16株 / 9.6㎡	草丈 28cm (生育期)	植富士露和
ランマンフロアブル 8月22日	○	無処理						1000倍	292g	2.8mℓ / 2.8ℓ / 9.6㎡	草丈171cm (生育期)	散布
アドマイヤーフロアブル 8月22日												
②ランセンフロアブル 8月29日	○	無処理						①4000倍 ②1000倍	292g	①0.7mℓ + ②2.8mℓ / 2.8ℓ / 9.6㎡	草丈220cm (収穫期)	散布
9月5日	○	無処理						①4000倍 ②1000倍	292g	①0.7mℓ + ②2.8mℓ / 2.8ℓ / 9.6㎡	草丈220cm (収穫期)	散布
9月12日	○	無処理						①4000倍 ②1000倍	292g	①0.7mℓ + ②2.8mℓ / 2.8ℓ / 9.6㎡	草丈220cm (収穫期)	散布

処理月日	区分	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の天候を含む処理日の天気概況	特に降雨の有無と降雨時間、 処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
8月3日		処理時の環境条件等	処理時の天候を含む処理日の天気概況	特に降雨の有無と降雨時間、 処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
8月22日		1株当たり2gずつ、植穴へ手で処理し、処理後、支柱棒で軽く圧和した。	晴 無風	A 区 6:25～6:30 曇り 無風
8月29日		丸山製作所・MSB151-Aを使用し、ノズルはエコシャワー H10として散布した。	晴 無風	A 区 11:20～11:25 曇り 無風
9月5日		"	晴 無風	A 区 7:45～7:50 曇り 無風
9月12日		"	晴 無風	A 区 8:10～8:15 曇り 無風
		"	晴 微風	A 区 13:35～13:40 晴れ 微風

(1) 散布剤 なし 使用した区番号 散布剤名 濃度または量

(2) 備考

オルトラン粒剤は電子天秤で2gずつを秤量し、葉包紙に包んだ。

アドマイヤーフロアブル、ランマンフロアブルは所定量をシリリングで計量し、水道水(メスリンダーで計量)で所定の倍率に希釈した。まきり散布とした。

気象表

日付	平均気温(℃)	最高気温(℃)	最低気温(℃)	降水量(mm)
2019年9月2日	29.6	34.6	26.3	-
2019年9月3日	33.3	47.6	26.6	-
2019年9月4日	32.4	46.4	24.9	-
2019年9月5日	32.0	42.5	24.9	-
2019年9月6日	33.1	50.3	24.9	-
2019年9月7日	32.6	49.3	23.7	-
2019年9月8日	32.0	46.5	24.5	-
2019年9月9日	32.1	44.9	24.9	-
2019年9月10日	32.3	47.2	24.8	-
2019年9月11日	29.5	36.6	23.4	-
2019年9月12日	29.8	41.1	23.3	-
2019年9月13日	31.7	46.6	25.1	-
2019年9月14日	28.9	41.2	24.1	-
2019年9月15日	31.0	43.1	25.1	-
2019年9月16日	28.0	32.7	25.6	-
2019年9月17日	30.8	47.4	24.8	-
2019年9月18日	32.4	53.4	25.1	-
2019年9月19日	29.0	39.1	22.4	-
2019年9月20日	23.7	29.1	21.3	-
2019年9月21日	25.7	34.0	21.4	-
2019年9月22日	25.0	30.0	21.9	-
2019年9月23日	25.9	35.2	22.8	-
2019年9月24日	27.2	36.3	22.0	-
2019年9月25日	25.7	34.4	19.7	-
2019年9月26日	25.8	38.4	17.3	-
2019年9月27日	25.5	35.6	19.4	-
2019年9月28日	23.8	27.2	20.6	-
2019年9月29日	25.2	33.0	21.3	-
2019年9月30日	24.2	28.5	20.3	-
2019年10月1日	22.3	36.4	21.3	-
2019年10月2日	22.4	36.8	21.3	-
2019年10月3日	22.2	39.1	19.6	-
2019年10月4日	22.0	29.5	19.2	-
2019年10月5日	24.1	34.6	19.0	-
2019年10月6日	24.9	32.7	19.8	-
2019年10月7日	29.3	40.7	21.8	-
2019年10月8日	28.9	37.6	23.1	-
2019年10月9日	29.2	35.4	23.9	-
2019年10月10日	26.3	35.4	24.3	-
2019年10月11日	29.0	39.0	22.5	-
2019年10月12日	25.8	33.8	21.1	-
2019年10月13日	19.2	27.7	16.0	-
2019年10月14日	18.6	27.1	14.8	-
2019年10月15日	20.4	36.6	15.1	-
2019年10月16日	22.4	40.1	17.0	-
2019年10月17日	25.3	25.8	20.2	-
2019年10月18日	20.5	34.3	18.2	-
2019年10月19日	20.5	25.4	17.0	-
2019年10月20日	19.7	27.4	14.7	-
2019年10月21日	19.4	27.7	14.7	-
2019年10月22日	20.6	25.8	15.6	-
2019年10月23日	23.3	35.9	17.5	-
2019年10月24日	24.1	40.3	18.5	-
2019年10月25日	23.5	33.8	19.0	-
2019年10月26日	21.3	31.2	13.3	-
2019年10月27日	20.8	33.5	11.2	-
2019年10月28日	22.5	36.7	13.0	-
2019年10月29日	22.4	34.8	14.6	-
2019年10月30日	22.5	34.1	15.7	-
2019年10月31日	23.8	35.6	15.3	-

(2019-スズキー濃粉)

1.1. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは処理方法を記載する)

処理日	区分	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (備考)
										10a当	試験区当(最終量散布量/面積)		
オルトラン粒剤 8月3日	○								2g/株	2.5kg	24g/12株/9.6㎡	草丈31cm(生育期)	覆土・密着和
ランマシロのくろ 8月22日	○								1000倍	232g	2.8m ² /2.8g/9.6㎡	草丈79cm、(生育期)	散布
アドマイヤーフロアブル 8月22日													
ランマシロのくろ 8月29日	○								①4000倍 ②1000倍	232g	①0.7m ² + ②2.8m ² /2.8g/9.6㎡	草丈94cm(収穫期)	散布
	○								①4000倍 ②1000倍	232g	①0.7m ² + ②2.8m ² /2.8g/9.6㎡	草丈108cm(収穫期)	散布
	○								①4000倍 ②1000倍	232g	①0.7m ² + ②2.8m ² /2.8g/9.6㎡	草丈112cm(収穫期)	散布

処理日	区分	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等		処理時の使用器具(細目)、観察記録、灌水・排水等の状況、 土壌温度等の測定・土壌水分、種子発芽率等の測定・その他		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天候概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
		1株当り2gずつ、種穴へ手で処理し、処理後、支柱棒で軽く踏圧した。		丸山製作所・MSB151-Aを使用し、ノズルはエコシャワーH10として散布した。		A 区 6:20～6:25 曇り 無風 A 区 11:10～11:15 曇り 無風 A 区 7:25～7:30 曇り 無風 A 区 7:55～8:00 曇り 無風 A 区 13:20～13:25 晴れ 微風	
8月3日							
8月22日							
8月29日							
9月5日							
9月12日							

(1) 播種期 なし 使用した区番号 処理時刻 濃度または量

(2) 備考

オルトラン粒剤は電子天秤で2gずつを秤量し、葉包紙に包んだ。

アドマイヤーフロアブル、ランマシロのくろは所定量をシリジで計量し、水道水(メスシリンダーで計量)で所定の倍率に希釈した。まきり散布とした。

(2019-ズッキーニ栽培)

試験場名 福島県(郡山)

12. 試験採取 (試験番号は試験送付時に「送付カード」(別添様式) に記入したものを記載する)

採取月日	区 A	区 B	区 C	区 D	区 E	区 F	区 G	試験採取時刻と交換	試験採取値 (区番号値)	試験送付量	試験送付月日
9月13日	A-1	B						B 9:45~9:50, A-1 10:30~10:35 曇り	B→A-1	B: 1.7kg・7個、A-1: 1.4kg・8個 ×1分析場所	9月13日
9月19日	A-2							7:00~7:05 曇り		2 kg かつ 5 個以上 ×1 分析場所	9月19日
9月26日	A-3							13:35~13:40 晴れ		1 kg・5 個 ×1 分析場所	9月26日

採取月日	区分	送付試験について (該当項目に○を付し、必要に応じてその理由を記載する)									
9月13日	1. 試験の大きさ (中々大)	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大
9月19日	1. 試験の大きさ (中々大)	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大
9月26日	1. 試験の大きさ (中々大)	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大
	1. 試験の大きさ (中々大)	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大
	1. 試験の大きさ (中々大)	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大	適量	中々大

(1) 試験採取方法 使用した器具 (種類)、採取方法の詳細、採取場所の名称、採取方法の記載

果実をハサミで切り取り、清浄なカゴに入れ、試験は夢に隣接する物置の下屋に運んだ。

(2) 採取後の簡型・梱包方法 試験採取後の加工、水切り、包装の簡型、梱包、簡型、梱包の簡型、梱包の簡型

所定量を秤量し、試験区ラベル (シール) を貼り付けたダンボール箱 (未使用のボークスベーパーを敷いた) に梱包した。簡型には密着防止のためボークスベーパーを貼めた。

(3) 試験送付先 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所 荒井雄太

(4) 試験の簡送方法 到着日指定、簡送指定、簡送会社

到着日指定 = 発送日の翌日午前中着とした。 簡送指定 = 冷蔵。 簡送会社 = ヤマト運輸。

(5) 備考

気象表 (試験用ハイブハウス棟(無処置区)内気象データ)

気象表

日付	平均気温(℃)	最高気温(℃)	最低気温(℃)	降水量(mm)
2019年8月2日	29.6	34.6	26.3	-
2019年8月3日	33.3	47.6	25.6	-
2019年8月4日	32.4	48.1	23.9	-
2019年8月5日	32.0	42.5	24.0	-
2019年8月6日	33.1	50.3	24.9	-
2019年8月7日	32.6	49.3	23.7	-
2019年8月8日	32.0	48.5	24.5	-
2019年8月9日	31.4	47.4	24.8	-
2019年8月10日	32.3	47.2	24.8	-
2019年8月11日	28.5	36.6	23.4	-
2019年8月12日	29.8	41.1	23.3	-
2019年8月13日	31.7	46.6	25.1	-
2019年8月14日	28.9	41.2	24.1	-
2019年8月15日	31.0	43.1	25.1	-
2019年8月16日	26.0	32.7	25.6	-
2019年8月17日	30.8	40.4	24.8	-
2019年8月18日	31.4	47.9	23.4	-
2019年8月19日	28.9	42.0	24.1	-
2019年8月20日	29.0	29.1	24.3	-
2019年8月21日	25.7	34.0	21.4	-
2019年8月22日	25.0	30.0	21.9	-
2019年8月23日	25.9	35.2	22.8	-
2019年8月24日	27.2	36.3	22.0	-
2019年8月25日	25.7	34.4	19.7	-
2019年8月26日	25.8	38.4	17.3	-
2019年8月27日	25.5	35.6	19.4	-
2019年8月28日	23.8	27.2	20.6	-
2019年8月29日	25.6	30.6	20.3	-
2019年8月30日	24.2	29.5	20.3	-
2019年8月31日	27.3	38.4	21.3	-
2019年9月1日	25.2	34.0	20.7	-
2019年9月2日	25.2	38.1	19.6	-
2019年9月3日	22.0	28.5	19.2	-
2019年9月4日	24.1	34.6	19.0	-
2019年9月5日	24.9	32.7	19.8	-
2019年9月6日	29.3	40.7	21.8	-
2019年9月7日	28.9	37.6	23.1	-
2019年9月8日	29.2	38.4	23.8	-
2019年9月9日	26.0	34.6	22.5	-
2019年9月10日	29.0	39.0	22.5	-
2019年9月11日	25.8	33.8	21.1	-
2019年9月12日	21.9	28.7	16.0	-
2019年9月13日	19.2	27.1	14.8	-
2019年9月14日	20.6	26.0	13.5	-
2019年9月15日	26.1	40.1	17.0	-
2019年9月16日	22.4	25.8	20.2	-
2019年9月17日	25.3	34.3	18.2	-
2019年9月18日	20.5	25.4	17.0	-
2019年9月19日	17.7	27.4	14.7	-
2019年9月20日	19.4	27.7	14.7	-
2019年9月21日	20.6	25.8	15.6	-
2019年9月22日	23.3	35.9	17.5	-
2019年9月23日	24.1	40.3	18.5	-
2019年9月24日	23.5	33.8	19.0	-
2019年9月25日	21.3	31.2	13.3	-
2019年9月26日	20.6	30.5	11.2	-
2019年9月27日	22.5	36.7	13.0	-
2019年9月28日	22.2	29.8	17.6	-
2019年9月29日	18.8	26.1	13.3	-
2019年9月30日	23.8	35.6	15.3	-

(2019-作物群 きゅうり、ズッキーニ)

2019年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 2019年 8月 ～ 10月)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

1. 検検物質

- (1) 一般名・剤型 ①ハダシ錠剤(70g) ②75マイネーグ75(339g)リット
③22220772、4(377.72g)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①75マイネーグ 5.0%②(339g)リット 20.0% ③75マイネーグ 9.4%
- (3) 検検物質のLot No ①N180721 ②TFR02 ③J80021
2. 農作物名 (品種名) きゅうり(エクセレント節成2号)、ズッキーニ(グリーンポート2号)
3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所

試験圃場所在地 茨城県牛久市稲東町535番地

4. 試験責任者氏名 長岡 広行、難波 孝志、川北 充彦、後藤 直人、富田 恭範

5. 土性 砂土・砂礫土(砂土・礫土 (Oを付す) 減水深 - cm/日

6. 過去1年間に作付けた作物および使用した農薬 (別紙として掲載)

別紙1に記載。

7. 栽培概要 栽培期間、移植時期、畝間・株間、畝幅・株間、排水、施肥、灌水等、
栽培要領書、栽培要領書(別紙として掲載)、栽培要領書(別紙として掲載)、栽培要領書(別紙として掲載)

露地・施設の種類 施設栽培(ガラスハウス・ビニルハウス) 有袋・無袋の別

作物名: きゅうり (苗木:エクセレント節成2号、苗木:ゆうゆう一瀬・黒)

播種: 苗木2019年8月5日、苗木8月2日、定植: 8月30日

栽培密度: 畝間180cm、株間60cm、条間50cm、2条播、約1850株/10a、無加温栽培、

マルチ(白黒ポリ)栽培

施肥 (10aあたり): 8月29日 旬肥料06DX(10-10-6) 100kg、通算石灰(0-17.5-0) 57kg、

くみあい粒状苦土石灰 M-10 150kg、9月13日、23日、10月2日、9日 くみあい尿素液肥

1号(12-5-7) 25kg(処理区Aのみ)

収穫期間 (連耕): 10月上旬～

作物名: ズッキーニ (グリーンポート2号)

播種: 2019年8月12日、定植: 8月30日

栽培密度: 畝間200cm、株間60cm、1条播、約830株/10a 無加温栽培、マルチ(白黒ポリ)栽培

施肥 (10aあたり): 8月29日 くみあい粒状苦土石灰 M-10 150kg、10月2日、9日 くみあい

尿素液台液肥1号(12-5-7) 25kg(処理区Aのみ)、花粉交配(試験期間中は毎日)

収穫期間 (連耕): 10月上旬～

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ -

9. 検検物質以外に使用した農薬 (別紙として掲載)

別紙1に記載。

10. 試験区

(1) 試験区の面積および本(株)数

きゅうり(処理区A) : 32.4㎡(1.8m×18.0m×1畝) 60株

(無処理区B) : 28.1㎡(1.8m×15.6m×1畝) 52株

ズッキーニ(処理区A) : 72.0㎡(2.0m×18.0m×2畝) 60株

(無処理区B) : 62.4㎡(2.0m×15.6m×2畝) 52株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ

ガラスハウス(処理区A): 面積213.75㎡・容積694.7㎡・高さ4.5m

PH2.6(無処理区B) : 面積226.8㎡・容積710.9㎡・高さ3.5m

きゅうり試験区

1.1. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは柄型を記載する)

区分 処理月日	きゅうり(処理区A)	ズッキーニ(処理区A)	無処理	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
					10a当	試験区当(濃薬量/散布量/面積)		
8月 30日	①		—	①2g/株 ①2g/株	—	①120.0g/120.0g/60株 ①120.0g/120.0g/60株	本葉約4枚、草丈約30cm 本葉約4枚、草丈約20cm	粒剤：種穴処理
9月 17日	③	①	—	③1000倍 ③1000倍	160L 160L	③5.2mL/5.2L/32.4㎡ ③11.5mL/11.5L/72.0㎡	本葉22枚前後、開花始め、草丈約180cm 幼果期(収穫前)、草丈約45cm	散布
9月 24日	②③		—	②4000倍 ③1000倍	160L 160L	②1.3mL/③5.2mL/5.2L/32.4㎡ ②2.875mL③11.5mL/11.5L/72.0㎡	本葉23～24葉、摘心、草丈約190cm 収穫始め、草丈60cm	混用散布
10月 1日	②③		—	②4000倍 ③1000倍	170L 171L	②1.375mL③5.3mL/5.5L/32.4㎡ ②3.075mL③12.3mL/12.3L/72.0㎡	側枝摘心、収穫期 収穫期、草丈約70cm	混用散布
10月 8日	②③		—	②4000倍 ③1000倍	182L 171L	②1.475mL③5.9mL/5.9L/32.4㎡ ②3.075mL③12.3mL/12.3L/72.0㎡	側枝摘心、収穫期 収穫期、草丈約80cm	混用散布
月 日								

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等		処理時の生育状況 処理時および処理後の風が被害に及ぼした影響について記入する	
	処理時の生育状況 処理時および処理後の風が被害に及ぼした影響について記入する		処理時および処理後の風が被害に及ぼした影響について記入する	
8月 30日	1株毎に秤量した収穫物を手で均一に処理した。		時刻： 13:25～13:35 天候：曇(日中曇)降雨、風の被害なし。	
9月 17日			時刻： 16:50～16:56 天候：晴(日中晴)降雨、風の被害なし。	
9月 24日	背負式パットリ-唧噴(丸山製作所製、MSE1500L)に葉角コーンノズルを装着し、均一に散布した。		時刻： 17:20～17:26 天候：曇(日中曇)降雨、風の被害なし。	
10月 1日			時刻： 16:20～16:27 天候：晴(日中晴)降雨、風の被害なし。	
10月 8日			時刻： 16:30～16:37 天候：曇(日中曇)降雨、風の被害なし。	

※き：きゅうり、ズ：ズッキーニ

(1) 農薬剤 使用せず 使用した区番号 ー 農薬または量 ー

(2) 備考 なし

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式) に記入したものを記載する)

採 取 日 月	区 分		無処理区 (0区)		試料採取順 (区番号順)		試料送付月日
	きゅうり (A区)	ズッキーニ (A区)	試料番号	試料番号	試料採取時刻と天候	試料送付量	
10月 9日	A-1	A-1	B		き B 10:15~10:24 天候：晴 時刻： B 10:30~10:40 A-1 11:06~11:12	き B: 2.2kg/19本 A-1 2.2kg/19本 ズ B 2.2kg/8本 A-1 2.2kg/10本 ×1分析	10月 9日 (当日手渡し)
10月 15日	A-2	A-2			き 9:15~9:22 天候：曇 時刻：ズ 9:25~9:32	き 2.2kg/18本 ズ 2.2kg/12本 ×1分析	10月 15日 (当日手渡し)
10月 22日	A-3	A-3			き 8:50~9:00 天候：曇 時刻：ズ 9:10~9:18	き 2.2kg/20本 ズ 2.2kg/11本 ×1分析	10月 22日 (当日手渡し)

区 分		送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその理由を記載する)	
採 取 日 月	10月 9日	1. 試験の成果を () へ送付する () 2. 試験は () へ送付する () 3. その他 ()	1. 試験の成果を () へ送付する () 2. 試験は () へ送付する () 3. その他 ()
10月 15日	10月 15日	1. 試験の成果を () へ送付する () 2. 試験は () へ送付する () 3. その他 ()	1. 試験の成果を () へ送付する () 2. 試験は () へ送付する () 3. その他 ()
10月 22日	10月 22日	1. 試験の成果を () へ送付する () 2. 試験は () へ送付する () 3. その他 ()	1. 試験の成果を () へ送付する () 2. 試験は () へ送付する () 3. その他 ()

- (1) 試料採取方法 使用した器具 (種別)、採取方法の詳細。
採取後試料保管のための包装方法を記載。
きゅうりおよびズッキーニともに各区、試験区の境界部の株をはずし隣りがないよう、試験区全体からハサミを用いて採取した。花からは手で除去した。
- (2) 採取後の調整・梱包方法 試験採取後の加工、水洗い、消毒の方法、包装、名簿。
試験した試料は、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた (試験区ラベル使用)。当日手渡しのため、梱包は行わなかった。
- (3) 試料送付先 分析機関：一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所
- (4) 試料の輸送方法 別添様式、温度管理、冷蔵会社等。
試料をかごに入れた状態で、分析担当者へ手渡した。
- (5) 備考 試料採取及び調製時は、清浄な手袋を装着し、手袋は試験区毎に交換した。

(2019- 作物群 きゅうり、ズッキーニ)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

試験期間中の気象

観測地点および試験圃場場所： 茨城県牛久市結東町 5 3 5 番地 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所 ガラスハウス 4

観測条件： 気温：平均気温 (1 時間毎)

(2019年)

○：薬剤処理日 △：試験採取日

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8	気温(施設内温度)																															
	薬剤処理/検体採取																														26.3	29.7
	区番号(検体番号)																														○	
9	気温(施設内温度)	29.2	28.7	25.7	24.9	28.0	31.7	30.9	30.8	30.4	32.3	30.7	27.2	22.2	23.7	26.7	24.5	27.2	23.6	22.9	23.6	22.2	24.4	28.2	26.4	25.3	22.9	23.5	25.3	26.0	24.9	
	薬剤処理/検体採取																	○							○							
	区番号(検体番号)																															
10	気温(施設内温度)	24.4	24.7	24.4	25.8	26.5	20.7	21.6	22.8	21.9	20.9	22.6	23.1	24.9	19.7	20.0	18.8	20.0	21.1	20.5	22.2	21.0	17.3									
	薬剤処理/検体採取	○							○	△						△							△									
	区番号(検体番号)								き B, A-1 ズ B, A-1						き A-2 ズ A-2								き A-3 ズ A-3									

観測機器：気温：T and D社製 おんどとり TR-71wf (気温は1:00～翌日0:00までの1時間毎の記録値より平均を求めた)

※き：きゅうり、ズ：ズッキーニ

(2019-作物群 きゅうり、ズッキーニ)

別紙 1

6. 過去 1 年間に作付けた作物および使用した農薬

ガラスハウス4(処理区A)

すいか
2019年6月25日 アデイオン乳剤 4000倍散布、モレスタン水和剤 2000倍散布
6月28日 ウララDF 2000倍散布、アフアーム乳剤 2000倍散布
7月18日 モレスタン水和剤 2000倍散布

きゅうり、ズッキーニ(試験作物)

購入苗に処理済み チウラム、ベノミル、ガッテン乳剤、ベルクート水和剤 RU

PH26(無処理区B)

無殺菌
2019年3月8日 ドジョウピクリン 30L/10a全面点注
3月26日 テロン 20L/10a全面点注

ししとう

2019年5月9日 アルバリン粒剤 2g/株 植穴土薬菌和
5月22日 アフアーム乳剤 2000倍散布、モベントフロアブル 2000倍散布
6月4日 アフアーム乳剤 2000倍散布、プレバソンプロアブルS 1000倍散布、モレスタン水和剤 2000倍散布
6月18日、25日、7月2日、9日 カルダフロアブル 4000倍 1L/1株 株元灌注、4000倍散布
6月19日 アルバリン粒剤 1g/株 株元散布
6月22日 モベントフロアブル 2000倍散布、アフアーム乳剤 2000倍散布、モレスタン水和剤 2000倍散布
6月25日 アルバリン顆粒水溶液 2000倍散布
7月2日 アルバリン顆粒水溶液 2000倍散布
7月11日 アフアーム乳剤 2000倍散布、プレバソンプロアブルS 1000倍散布、モレスタン水和剤 3000倍散布

きゅうり、ズッキーニ(試験作物)

購入苗に処理済み チウラム、ベノミル、ガッテン乳剤、ベルクート水和剤 RU

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

9. 被験物質以外に使用した農薬

きゅうり(処理区Aおよび無処理区B共通)

2019年8月30日 トリフミン水和剤3000倍散布、ライメイフロアブル 2000倍散布、アフアーム乳剤 2000倍散布
9月12日 モレスタン水和剤 3000倍散布、ディアナSC 2500倍散布、ウララDF 2000倍散布
9月15日 ベトフアイター顆粒水和剤 2000倍散布
9月27日 モレスタン水和剤 3000倍散布、ノーベックエニケード 5000倍散布

ズッキーニ(処理区Aおよび無処理区B共通)

2019年8月30日 トリフミン水和剤 3000倍散布、ライメイフロアブル 2000倍散布、アフアーム乳剤 2000倍散布
9月12日 モレスタン水和剤 3000倍散布、ディアナSC 2500倍散布、ウララDF 2000倍散布
9月30日 モレスタン水和剤 3000倍散布
10月9日(処理区Aのみ) アフアーム乳剤 1000倍散布、ガッテン乳剤 5000倍散布
10月16日 アフアーム乳剤 2000倍散布、モレスタン水和剤 2000倍散布

試験場名 一般社団法人奈良県植物防疫協会

平成 3 1 年度 農薬作物残留量分析試験調製明細書

(試験期間 2019年8月 ～ 2019年10月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①オルトラン粒剤②アトマイヤーフロアブル③ランマンフロアブル
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①アセフェート5.0%②イミダクロプリド20.0%③シプロファミド8.4%
- (3) 被験物質の Lot No. ①N180721 ②T9B02 ③I80021
2. 農作物名 きゅうり 品種名 エクセレント節成2号
3. 試験実施施設名 一般社団法人奈良県植物防疫協会
- 試験圃場所在地 奈良県五條市相谷町 奈良県植物防疫協会五條試験地
4. 試験責任者氏名 上田 加奈
5. 土性 砂壌・砂土・植床土・埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日
6. 過去1年間に作付けた作物及び使用した農薬 (明細としても書かれます)

- だいこん アクアラ粒剤5 4kg/10a(2018/9/13)、だいこん トレボン乳剤 1000倍(2018/10/3)、だいこん アクアラ顆粒水溶剤 2000倍(2018/11/20、26)、きゅうり アルバリン粒剤 2g/株(2019/4/17)、だいこん アクアラ顆粒水溶剤 2000倍(2019/5/14、25、27、28、6/1、3)
- 1g/株(2019/5/21)、きゅうり アルバリン顆粒水溶剤 2000倍(2019/5/14、25、27、28、6/1、3)
7. 栽培概要 播種日 砂壌土 施設 露地 施設 無袋 有袋・無袋の別 無袋
- 露地・施設の別 施設
- 定植：2019年8月8日 畝間1.4m 株間50cm 1条植え 本葉3葉期 (約1400株/10a)、白マルチ
- 施肥：元肥 2019年8月6日 1B化成S1号 (10-10-10) 150kg/10a、粒状苦土石灰50kg/10a
- 追肥 2019年9月10日 新葉8号 (8-8-8) 25kg/10a
- 灌水：エバーフロー 20分・2回/日

収穫期間(通期)：2019年9月中旬～10月

8. 生育ステージ 試験計画に指定された生育ステージを記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬(明細としても書かれます)

- 8月27日 ダコニール1000 1000倍散布
- 9月 3日 アルバリン顆粒水溶剤 2000倍散布
- 9月10日 アフエットフロアブル 2000倍散布
- 9月18日、9月24日 アミスター20フロアブル 2000倍散布
- 9月18日 アファーム乳剤 2000倍散布
- 9月24日 フェニックス顆粒水和剤 2000倍散布

1.0. 試験区

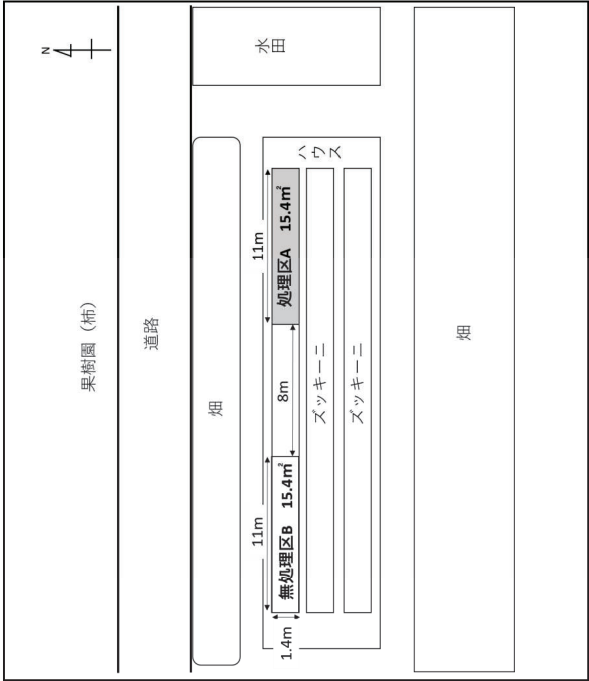
- (1) 1試験区の面積および本(株)数 無処理区B、処理区Aとも15.4㎡(11m×1.4m)・22株
- (2) 施設の場合、面積・容積・高さ 160㎡、400㎡、高さ2.5m (幅5m、長さ32m)
- (3) 試験区の配置図(試験区全体および無処理区の配置関係を作図して下さい。黒線1線は成を○で囲みで表し、必要に応じて他の黒線

ア) 下口内の上と下を並び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。黒線1線は成を○で囲みで表し、必要に応じて他の黒線

方角を記載して下さい。無処理区との間の距離を記入して下さい。

イ) 無処理区は、試験区全体の面積の約1/10を占めるようにして下さい。

ウ) 圃場の方位、方角および圃場の傾斜方位を記入して下さい。水田は取水口および排水溝を記入して下さい。



(ー)
1.1. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは処理型を記載する)

処理月日	区分	A区	B区	C区	D区	E区	G区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法(御略)
									10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
8月 8日	粒剤	○	無処理					①2g/株	2857g	44g/44g/15.4m ²	本葉3葉期	定植時植穴処理
8月 27日	○	無処理						③1000倍	195L	3m ³ /3L/15.4m ²	生育期	散布
9月 3日	○	無処理						②4000倍③1000倍	260L	②1m ³ ③4m ³ /4L/15.4m ²	生育期	散布
9月 10日	○	無処理						②4000倍③1000倍	260L	②1m ³ ③4m ³ /4L/15.4m ²	生育期	散布
9月 17日	○	無処理						②4000倍③1000倍	260L	②1m ³ ③4m ³ /4L/15.4m ²	収穫期	散布
月 日												
月 日												

処理月日	区分	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等		処理時の使用器具(機械)、 土壌温度と時の湿度、土壌水分、種子播種時の水温、定植時		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
		処理時の使用器具(機械)、 土壌温度と時の湿度、土壌水分、種子播種時の水温、定植時		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
8月 8日		植穴に粒剤を入れて手袋をした手で混和し、定植した。その後、手灌 水した。				16時半。晴れ。施設のため降雨の影響はなく、風の影響もなかった。	
8月 27日		3Lの薬液を作製し、背負式噴霧器(丸山製作所製：MSB1500Li)に1頭口 ポンプ(丸山製作所製：エコファ-H10)を装着し、処理区全体に均一に 散布した。				12時。雨。施設のため降雨の影響はなかった。風の影響を防ぐため、ハウスサイドを閉じて散布した。	
9月 3日		4Lの薬液を作製し、背負式噴霧器(丸山製作所製：MSB1500Li)に1頭口 ポンプ(丸山製作所製：エコファ-H10)を装着し、処理区全体に均一に 散布した。				13時50分。晴れ。風の影響を防ぐため、ハウスサイドを閉じて散布した。	
9月 10日						13時45分。晴れ。風の影響を防ぐため、ハウスサイドを閉じて散布した。	
9月 17日						15時50分。くもり。風の影響を防ぐため、ハウスサイドを閉じて散布した。	
月 日							
月 日							
月 日							
月 日							

(1) 展着剤 - 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考

(ー)
12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する)

採取月日	区	分	A	B	C	D	E	F	G	区	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
9月 18日	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	B:8:15~8:30 A:1:10:00~10:15 雨	B → A	各区 2kg 以上× 2 分析	9月 18日
9月 24日	A-1	B									9:15~9:30 くもり	A	各区 2kg 以上× 1 分析	9月 24日
10月 1日	A-2										9:05~9:20 晴れ	A	各区 2kg 以上× 1 分析	10月 1日
月 日	A-3												各区 以上× 分析	月 日
月 日													各区 以上× 分析	月 日
月 日													各区 以上× 分析	月 日

採取月日	区	分	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその理由を記載する)											
9月 18日	1.	試料の大きさは (やや大きい ○通常 やや小さい 大きいにバラツキがある) 2.	熟度は (やや早い ○通常 やや遅熟) 3.	その他 () 4.	原因									
9月 24日	1.	試料の大きさは (やや大きい ○通常 やや小さい 大きいにバラツキがある) 2.	熟度は (やや早い ○通常 やや遅熟) 3.	その他 () 4.	原因									
10月 1日	1.	試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい ○大きさにバラツキがある) 2.	熟度は (やや早い ○通常 やや遅熟) 3.	その他 () 4.	原因									
月 日	1.	試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2.	熟度は (やや早い 通常 やや遅熟) 3.	その他 () 4.	原因									
月 日	1.	試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2.	熟度は (やや早い 通常 やや遅熟) 3.	その他 () 4.	原因									
月 日	1.	試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2.	熟度は (やや早い 通常 やや遅熟) 3.	その他 () 4.	原因									
月 日	1.	試料の大きさは (やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2.	熟度は (やや早い 通常 やや遅熟) 3.	その他 () 4.	原因									

(1) 試料採取方法
使用した器具 (種類)、採取方法の詳細、採取後殺菌のための梱包方法を記載

清潔な手袋を装着し、清潔な収蔵用はさみを用いて隔りがないよう、区全体から採取した。

(2) 採取後の調製・梱包方法

採取した試料から通ずるものを選び、おおむね同じ大きさの試料を選択した。新しい段ボール箱に新しいポリカスベーパーを敷き、規定量の試料を並べた。
隙間をポリカスベーパーで埋め、試料が動かないように梱包した。箱の内側に試験区ラベル、外側に梱包ラベルを貼り付けた。

(3) 試料送付先
分析機関： 一般社団法人日本植物防疫協会 茨城研究所 〒300-1212 茨城県牛久市南町535

(4) 試料の輸送方法
到着日指定 温度指定
輸送会社等

到着日を送付翌日の午前中に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で輸送した。

(5) 備考

(一)
気象表

観測地点および試験圃製場所 観測地点：(アメダス)奈良県五條市三在町(8/8)、(おんどり)奈良県五條市相谷町 五條試験地内ビニルハウス(8/9～10/1)
試験圃製場所：奈良県五條市相谷町 稲崎試験員宅玄関

記号：○：薬剤処理日
△：試料採取日

気温：平均気温 (1 時間毎) 降水量：日界 二 時

		測定時刻										午前		—		時																	
月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
8	気温 (施設内温度)								28.3	27.8	32.7	33.8	32.2	30.8	30.0	28.0	32.1	31.9	32.0	29.4	31.0	31.9	31.5	28.2	27.6	28.4	29.5	25.2	26.4	28.8	26.7	26.5	
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取								○																			○					
	区記号 (試料番号)								A																				A				
9	気温 (施設内温度)	28.1	29.9	30.6	28.9	29.5	30.4	30.5	31.7	30.9	31.8	30.7	29.1	24.0	28.4	28.7	25.8	26.7	24.1	23.7	21.9	24.8	25.9	25.2	22.4	24.6	25.2	25.1	24.3	27.7	28.1	/	
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取									○								○	△						△								
	区記号 (試料番号)									A								A	B・A-1						A-2								
10	気温 (施設内温度)	27.0																															
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取	△																															
	区記号 (試料番号)	A-3																															
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																
	区記号 (試料番号)																																
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																
	区記号 (試料番号)																																
	気温 (施設内温度)																																
	降水量																																
	薬剤処理/試料採取																																
	区記号 (試料番号)																																

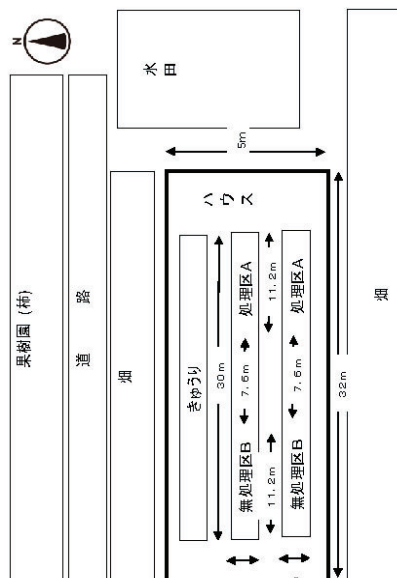
薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合は「気温」欄へそれぞれ記入する。
また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

平成31年度
農業作物殘留
量分析試料調製
明細書

(試験期間 2019 年 8 月 ~ 2019 年 10 月)

試劍場名一般士団法人奈良県直邇方変協会

- [illegible]



11. 処理方法（下の A～G 欄へは該当する処理日に「○」あるいは育歴を記入する）

[illegible][illegible]

(1) 展着剤	使用した区番号	展着剤名	濃度または量

價值(2)